

柵津地域づくりの会

No.17

—発行—
柵津地域づくりの会
事務局
東御市柵津 917-4
柵津公民館内
TEL・FAX: 62-0251
—印刷—
あさま印刷

新型コロナウイルス退散 祈願の『のろし』



令和3年3月20日(土) 11時、新型コロナウイルス退散を願い市内の5地区で一斉にのろしが上がりました。各地区の地域づくり会が連携した初めての試みで、柵津では城山の草刈り作業後に皆で山頂からのろしを上げました。

柵津城山桜祭り

産業経済部会長 宮下清行

4月17日(土) 二年ぶりに柵津城山桜祭りを開催。例年だと適期のはずが、3月から暖かい日が続いたために桜の開花が予想以上に早く桜花は終盤で、追い打ちをかけるように雨模様の悪天候となっていました。本会



役員と準備を担った西宮活性化委員会の皆さんが集合し、訪れていただいた方に花見団子を振舞いました。近年は温暖化の影響もあり祭りを決めるのも難しくなっています。



柵津小新入児へ 方言カルタを 贈呈



3月30日、別府会長らが柵津小を訪れ、新入児童用に「柵津方言カルタおらほ」50部余を篠崎元嗣校長先生へ贈呈しました。

平成22年に本会前身の活性化研究委員会が作成したカルタを新入児に毎年贈呈し続けているもので、令和2年に増刷し、昔ながらのカルタ遊びをしながら柵津の方言に親しんでもらいたいと願うものです。

柵津の出版物

これまでに作成した出版物を柵津公民館にて販売、販布しています。



(2,000円)



(500円)



(無料)

柵津公民館にて
販売・販布中!!

柵津小3年生 ハヤシミドリシジミ飼育授業

教育文化部会長 野口賢吉



柵津小3年生のハヤシミドリシジミ飼育授業が、4月13日の事前学習から始まりました。

柵津城山に桜を植栽する際に伐採されたカシワからこのチョウの卵を救出した



平成18年の「バタフライエイド」をきっかけに始まった学習は令和2年にはコロナによる休校のためアゲハチョウの羽化観察でしたが、3年は例年通り実施され、13日の学習後15日には八重桜が咲く城山に出かけてカシワの小枝に残った卵を観察。

その後約ひと月、学校で各組20〜30頭の幼虫に餌を



やったりフンの掃除をして育てながら観察。2週間ほどのさなぎを経て、6月にはきれいな蝶が羽化し始めるとその美しさに感激。9日には城山に登って羽化した蝶を班ごとに空に放ち、別れを惜しみながら「元気でね!」と声をかけていました。



柵津小3年生が地区たんけん

前年にせんべい探検で柵津の各地を訪ねた3年生が、

より詳しく地域を知ろうと4〜5月に5回に分けて西宮区、東町区、出場区、新屋区、金井区を探検しました。

UCVが棚田の ドローン撮影



6月1日、棚田百選の滝の沢、姫子沢の棚田をUCVがドローンで撮影し放映しました。

柵津つ子フェスティバルで ウォークラリー

6月26日(土)、柵津子ども会育成会主催の柵津つ子フェスティバルが開催されました。

今回は、東町から西宮にかけてのウォークラリーが組まれ、1年から6年まで70人余の児童が異年齢の11班に分かれて参加。

建事神社歌舞伎舞台、カヤの木様、御姫尊の3箇所のチェックポイントでは、それぞれ数問が用意され、班のリーダーを中心に問題を解きながらチームワークよく2時間ほどで柵津小学校に戻ってきました。

この行事にはPTA、育成会のほか、民生児童委員や本会役員など約70名のスタッフが参加。皆さん大変お疲れさまでした。



まちづくり 懇談会開催



7月5日(月)、柵津地区でのまちづくり懇談会が開催され、本会役員や各区長らが参加しました。

市からは市長始め各部課長が参加。市政の説明のほか、予め提出された柵津のいくつかの課題について意見を交換しました。

所沢川せせらぎ公園で 柵津小児童が川遊び

滝の沢区下のせせらぎ公園は、川遊びができる市内では貴重な親水公園で、夏には柵津小児童の遊び場となっています。

しかし、年数を経て土砂が堆積し葎などが繁茂していることから、7月17日(土)には飛翔会の呼びかけで関係者が集まって川掃除をしてスタンバイ。



20日(火)には待ちわびていた2年生が水着にバケツや水面を持つて集結。好天の下、一斉に川に入ってカニを見つかったり、カエルを追いかけてはしゃいでいました。

せせらぎ公園は放置状態ですが、市民が安心して利用できるよう、水道やトイレを整備してほしいものです。



健康づくりポールウォーキング

～出場・新張方面～

生活福祉部会長 檜原みち代

10月2日(土) 秋晴れの青空の下、本会と健康づくり推進委員会共催の健康づくりポールウォーキングが開催され、30人が参加。コースは前年に雨天中止となった出場から新張にかけての史跡なを巡る約5km。戊の満水を物語る八間石



や出場の狐山古墳、地藏尊を経て新張の湯道一番観音、高札場のある新張公民館で休憩し、聖天寺で松平忠武公のお位牌にお参りしてきました。久々の秋らしい陽気の中、軽く汗を流しつつ祢津案内人の説明に祢津の歴史に思いを馳せた一日でした。



『祢津案内人』講座開催



3～5年前に祢津の歴史や自然講座を受講した20余名が「祢津案内人」に登録されています。

その後活動を始めたころから新型コロナウイルスのため活動が停滞していましたが、10月26日、20名が参加して講座を再開しました。

この日は山城「祢津城山」について山越淳一さんが説明。今後はメンバーが交替で学習会を開く予定です。

第4回 烏帽子スカイラン

第4回目となる「烏帽子スカイラン」が、10月31日(日)に開催されました。2年間のテスト開催を経て一昨年から本格的な全国大会となった烏帽子スカイランも祢津地区での行事として定着してきました。

今回も全国から健脚自慢のランナー200数十名が参加。長命寺大日堂を8時から時間差で出発したランナーたちは御堂ワイン畑を通り、広野方面から烏帽子岳山頂まで直登。烏帽子は双耳峰であるため、岩場の急斜面を登り小烏帽子に到達すると、山頂がまだ先にあることに肩を落としながらも尾根筋を駆け抜けていきました。

優勝者は、往復25キロの山道を2時間余で走破。一昔前なら、「祢津の天狗様」とでも呼ばれたことでしょう。



城山遊歩道整備

城山裏の堀切急斜面の遊歩道が10数年を経て場荒れしていることから、ガイドツアーやスカイランを控えた10月16日（土）、産業経済部会役員や西宮活性化委員20数名が参加して、階段ステップとロープの張替えを行いました。



全国山城サミットアフター大会 「祢津城山ガイドツアー」



令和2年に上田市と坂城町で行われた全国山城サミットのアフター行事として、今回は東御市も参加して11月3日（文化の日）に、地域の代表的な山城である祢津城山のガイドツアーが開催されました。

山城研究家森垣良広さんのガイドと説明が聞けるとあるとあつて県内外から30名が参加。ホストスタッフの

本会役員と祢津案内人も含めて40数名のにぎやかな見学会となりました。



まず祢津公民館で、山城ブログ「らんまる攻城戦記」管理人の森垣さんから中世城郭である山城の基礎知識を学び、とりわけ祢津城山見学のポイントを聞いてから、折しも紅葉真っ盛りの城山に向けて出発。

3カ所ある虎口や土塁、堀切、水の手などの解説を熱心に聞きながら、下の城（城山）山頂で昼食となりましたが、一部の皆さんは食事もとらずに堀切を歩いて森垣さんに質問する熱の入れよう。



その後は、上の城探索コースと西宮歴史散策コースの二手に別れて、青空の秋の一

日を満喫していました。

（産業経済部会）

柵津名勝十二景 俳句ウォーキング

丸山晩霞



柵津出身で明治から昭和初期にかけて活躍した水彩画家丸山晩霞。晩霞記念館主催で、晩霞が選定した柵津名勝の図柄にもなった柵津名勝十二景を巡りながら俳句などを楽しむウォーキングが11月6日(土)に行われました。

俳句の指導は、生涯学習講座の窪田英治先生。名勝地案

内は柵津案内人の後藤正次さん(新屋)、小山忠範さん(西宮)、野口賢吉さん(新屋)の三名で、市内外から20名ほどが参加しました。

一行はまず東御中央公園の金井村跡石碑で「戌の満水」の災害で村が壊滅した「金井河原の虫の声」の説明を聞き手を合わせ、東町に移動。日



吉神社の東町歌舞伎回り舞台では、落ちていたヤドリギの実を拾った窪田先生から宿木(寄生木)が季語であるとの説明を受けて俳句を一ひねり。続いて「大日苑の晩鐘」をゴーンと突いてから長命寺の「垂桜」の木を横目に御堂、西宮(御姫苑、榎の木宮嶽神社)を回って秋空の一日を詠んで巡りました。



柵津小学校子ども歌舞伎 「忠臣蔵」公演!!

11月28日(日)、柵津小学校子ども歌舞伎クラブによる「忠臣蔵」が柵津公民館で演じられました。

この公演は、例年行われる東町日吉神社での公演、柵津ふれあい文化祭での公演がいずれもコロナ蔓延防止のため中止となったことから、子どもたちには地域の皆さんに観ていただく機会、地域の皆さんには年に一度は歌舞伎(地芝居)を観る機会をと、柵津公民館が単独公演を企画したもので、地域の皆さんや保護者約百名が子ども歌舞伎十八番の一つ「忠臣蔵」を鑑賞しました。

当日は未明に初雪が降り赤穂浪士の討ち入りには満点の雰囲気。皆さんは久しぶりの子ども歌舞伎を堪能したようで、役者が見得を切る場面では「おひねり」が盛んに飛んでいました。



柵津小学校2年生 柵津せんべい探検隊

昭和初期に柵津湊屋菓子店が販売した柵津せんべい。

図案は丸山晚霞が描いた柵津名勝十二景で、長命寺の枝垂れ桜や七都石神社の涼風など地域になじみの風景が描かれています。

本会では数年前から柵津せんべい焼きを復活して東町歌舞伎公演や湯の丸高原

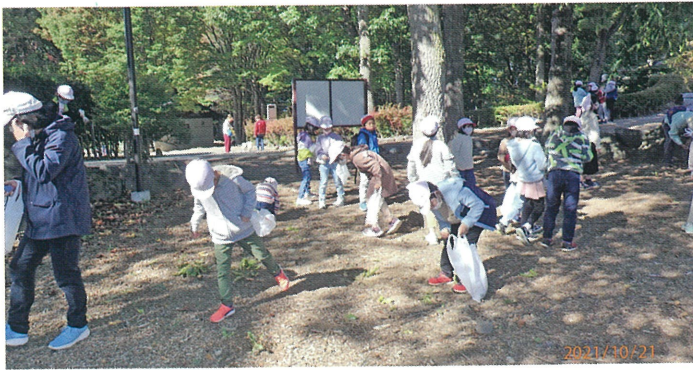
つつじ祭りの際に来訪者に振舞っています。

柵津小学校では2年生が「せんべい探検隊」として10月11日に図案に描かれた場所を訪ね地域学習を重ね、12月10日には家庭科室で晚霞記念館佐藤館長の指導の下、

本会役員のサポートを受けながら実際にせんべい焼きに挑戦。

最初は金型を持つ手もグラグラしていましたが、二回目には上手に焼けて、どの図案が確かめながら、ほんのりと甘いせんべいを大切に少しずつかじっていました。

(教育文化部会)



柵津公民館

ステンドグラス講座

12月18日(土)、柵津公民館で「親子でステンドグラスのXmasツリーを作ろう!」講座が開催され、市内各地から6組12人が参加。色選びから始まり、ガラスを丹念に磨いてから枠付けまで2時間余り。親子で協力しながら真剣に取り組み、初めてにしては上出来の作品に皆さんご満悦でした。

作品展示

秋のふれあい文化祭が中止となったことから、生涯学習講座などの作品発表の場として公民館談話コーナーで12月2月に作品展示を行いました。

今回参加したのは、水仙の会、やさしい水彩画教室、東御美術会と彩明会で、いずれも水彩画。それぞれ2週間ほど十数点を展示し、来訪者を楽しませてくれました。



第10回 柵津方言かるた大会



げえむねえ、たーくら
たー。意味は分かるでしょう
か？今ではあまり使われな
くなった方言。「げえむねえ」
は無意味、無駄、「たーくら
たー」は馬鹿者を意味します。
このような柵津の方言を
まとめた「柵津方言カルタお
らほ」を使うかるた大会が1
月9日（日）に柵津公民館で
開かれました。

大会には小学生40名と保



育園児10名が参加。4部門の
14組に分かれて優勝を競い
ました。

◇1年の部

優勝 神津愛実さん

2位 浅川陽菜さん

3位 武舎彩愛さん

◇2・3年の部

優勝 佐野綸那さん

2位 関 夢華さん

3位 柳橋由依さん

◇4・5・6年の部

優勝 寺島聖莉さん
2位 佐野華梨さん
3位 矢島春歩さん

（教育文化部会）



令和2～3年度 役員退任

コロナ禍もあり十分な活動ができま
せんでしたが、お世話になりました。
4月に新役員にバトンタッチします。

副会長

白石 三郎

副会長

花岡 高

会長

別府 英宣

会計

岡部 由明



〈産業経済部会〉 副会長

清水 英彦

部会長 宮下 清行

副会長 篠原 博文



〈生活福祉部会〉 副会長

後藤千代子

部会長

榎原みち代

副会長

花岡 豊一



〈教育文化部会〉 副会長

小林 利佳

部会長 野口 賢吉

副会長 塩川 壽友



編 集 後 記

公民館長として3年、地域づくりの会事務局として2年
お世話になりました。

コロナに振り回された時期でしたが、何とか公民館活動
も地域活動も果たせました。年1回の発行で、盛りだくさ
んの会報になりましたが、柵津の「元氣」をお伝えします。

（館長兼支援員 花岡）